

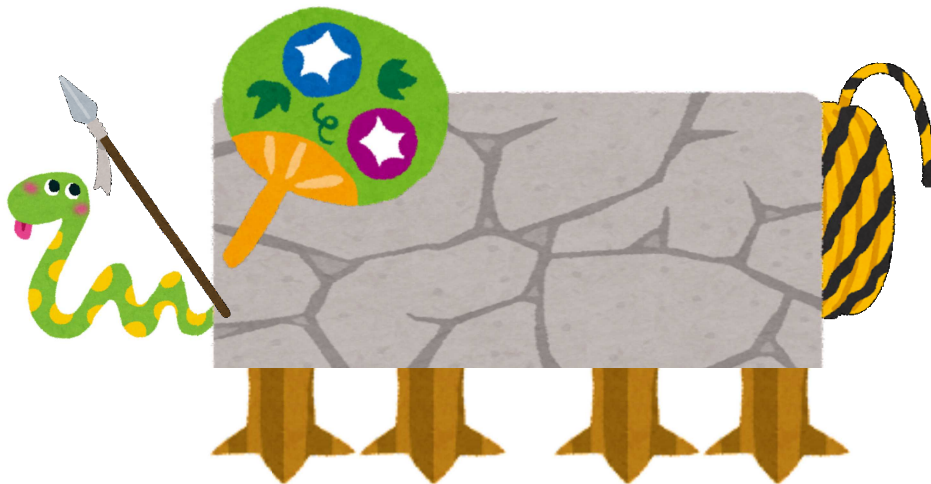
大内中だより

きつきの丘

【学校教育目標】
「あいさつ日本一を目指して」

令和6年1月16日 第38号

暗やみのゾウ（冬休み明け集会の講話より）



話がかみ合わないことを不思議に思い、明かりをもってみんなでもう一度小屋に入ってみようと誰かが提案していたら、本当のゾウの姿を見ることができただろうし、自分たちの間違いに気付いたことでしょう。

私たちは、人やもの（情報も含みます）を見る時に、ほんの一部をみただけで、それが全てだと思い込んでしまうことがあります。だから、できるだけ「多面的な視点」（様々な側面から見ること）で人やものをとらえること、つまり「視野」（物事を考えたり判断したりする範囲）を広げようとする心掛けが大切です。

もう一つ忘れてはならないのは、六人の話がかみあわないのは、異なる部分をさわっているためであり、ゾウの一部を正しく理解しているが、「ゾウ」という動物そのものを理解できなかったことです。つまり、彼らはおろかではなく正しい主張をしていることを忘れてはいけません。

【栄光の記録】

○県中学校スキー大会	男子回転	第10位	○○	○○
	男子大回転	第13位	○○	○○

